

こぬかあめ

きりとおし

小糠雨しみる「切通し」

一級村道青柳線 筑北村 坂北地区(善光寺街道青柳宿近く)

切通しと聞いてみなさんは何を連想しますか。江戸時代に岩盤を掘り割って道をあけた北国西街道の一部です。硬い岩を豆腐を切るように、見事に縦に切り割ったもの。名は体を表す。道の形態を見事に表した呼び名なのです。

さらにキル(切る)もトオス(通す)も訓読み。言葉と響きがいいと思うのは私だけでしょうか。

今の時代では、岩盤を掘削するとモルタル吹付けなどにより風化を防止します。切通しは当時の道路改良で、素掘り(そのままの岩盤)の構造です。機械がない江戸時代に人力だけでよく切ったなと思います。

8月の終り、雨の中、切通しへ行ってきました。静けさと小糠雨しみいる岩肌。切り立った岩盤に挟まれ、一瞬、江戸時代にタイムスリップしたような錯覚に陥りました。なんとも言えない感覚を味わうことができる稀有な場所です。パワースポットなのでしょうか。時代劇やドラマの撮影場所にもいいのではと思います。是非、一度訪れてみてください。(大小二つの切通しがあります。大は筑北村、小は麻績村。)

近くには善光寺街道の青柳宿があります。そこでも一つ驚かされました。石組み水路です。こんな水路みたことない!

切り通しや青柳宿の説明は↓こちらをクリック↓

動画もご覧ください!

https://www.youtube.com/watch?v=-60f_EWFQdA&feature=youtu.be

★来て! 観て! 松本『彩』発見(松本地域振興局)

<http://blog.nagano-ken.jp/matsuchi/viewspots/1411.html>

★筑北村 おでかけガイド

切り通し <http://chikuhoku.jp/kiritoshi/>

青柳宿 <http://chikuhoku.jp/aoyagi/>



切通し



青柳宿 石組み水路